

最後のことは

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン

「今日のフォーカスチェンジ」第2576号

(2010年11月17日発行)より

「もしもこれが、あなたに贈る最後の
ことばだとしたら、私は何を伝えるだ
ろう」

毎朝の1時間以上を使って、メルマ
ガを書くようになって、8年目に入りま
した。

誰に頼まれたわけでもありません。
完全日刊を、ときどき休んだとしても、
別に何を言われるわけでもないでし
ょう。

時間のないときもあります。体調の悪
いときもあります。うまくことばがまと
まらないこともあります。

それでも、このひとことを口にしたと
たんに、自然に、キーボードをたた
きはじめるのです。

「もしもこれが、あなたに贈る最後の
ことばだとしたら、私は何を伝えるだ
ろう」

そして、このことばは、メルマガだけ

でなく、あらゆる場合に共通する気
持ちが含まれていると思うのです。

だって、今日と同じ明日がつづく可
能性なんて、本当はどこにもないの
ですから。

だから、日常においても、ことばとい
うものが、とても大切なものになるの
です。

それこそ感情にまかせて投げつけた
ことばがもしも最後になってしまったら、
誰にとっても、つらい思いを残すこ
とになるでしょうから。

もっと言えば、いまこの瞬間に、どの
ように、ひととかかわるか、どのよう
に、自分とかかわるか。もちろん完全な
ことはできないにしても、少しは見直
せるような気がするのです。

私のライフワークは、「子ども・表現・
教育」です。

いまを生きる子どもたちに、そして、
未来を生きる子どもたちに、どんなこ
とばを伝えられるか。どんな生きかた
を示せるか。

けっして器用に生きてきたわけでは
なかったし、いばれるようなことはろ

くにありませんが、それでも、この生
きかたをとおして、何か伝えられたら
いいなという思いがあります。

この生きかたをしてきたからこそ、伝
えられるものがあるかもしれないと思
います。

だから、それを、伝えつづけていき
たいと思います。

また、そんなふうには、一人ひとりが、
自分のことばを、自分の生きかたを、
とらえ直してみたらどうかと思うので
す。

毎日使うことばを、どのように生きる
かという思いを、見つめ直してみたら
どうかと思うのです。

そしたら、一人ひとりのことばが変わ
ります。毎日の生きかたが変わりま
す。

もしも、あなたが、そんなふうには自
分のことばや生きかたをとらえ直しはじ
めたら、まわりのひとだって、きっと
影響を受けずにはいられないでしょ
う。

すると、まわりのひとたちのことばや
生きかたが、変わりはじめます。

いま、社会には、さまざまな問題があ
ふれています。それにたいして、い
ろいろな方策も語られてもいます。

でも、私はいつも思います。誰かを
何とかしようとするならば、まず自分
自身が変わらなくてはならないのだ
と。

その一歩を踏み出すために、あらた
めてこのことばを、自分に投げかけ
てみたいと思うのです。

「もしもこれが、あなたに贈る最後の
ことばだとしたら、私は何を伝えるだ
ろう」

そのことばをかみしめながら、私自
身も、今日を生きていこうと思うので
す。二度と繰り返すことのできない、
今日を、生きていこうと思うのです。

この思いを、あなたとわかちあうこと
ができれば、私は、とても幸せです。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカス
チェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、
2003年11月1日創刊。2010年9月、
2500号達成。3秒で読める携帯版もあり。
無料講読は「かめわざい塾」から♪

<http://kamewaza.com/>